

能登島閨町で、「支え合いマップづくり」が必要なと思った理由は？

高齢者の人は、足が弱ると家から出なくなりやすいですね。また、寒い時期は、余計に外出しなくなるので、日用品を売りに来る車の場所までも行けなくなります。この地域には、日常生活に支障がある高齢者がいます。そんな問題を解決したいけど、現状を知らなければならぬ。そんなことを考えているときに「支え合いマップ」があることを福祉課から聞き、取り組みました。

「支え合いマップづくり」で期待するポイントは？

この地域の現状や課題が見えてきたので、マップに記された情報を活かさなければなりません。今後、取り組むことで、不安から期待が変わっていくのではないのでしょうか。今は、「支え合いマップづくり」から、この地域がどう動いていくのかわかりません。具体的には言えませんが、今後に期待といったところでしょうか。

「支え合いマップづくり」を 作成後の感想は？

よかったですね。何がよかったです言ったら、お互いに協力し合う関係づくりが大事だということがわかりましたね。相手が困っている場合、手を差

し伸べることは当然のことですが、回数を重ねると、相手が負担に思ってしまう。負担に思われぬように、相手にもできることで地域に貢献してもらい、持ちつ持たれつの関係が必要だと、あらためてわかりました。地域で、そんな人間関係ができれば、住民同士の結束力も高まるのではないのでしょうか。

また、町会長を務めていても、知らない情報は多かったですね。地域のことをよく知る人たちを集めて情報を出し合えば、たくさんの方が集まり、こんなに知らないことがあるのかと思いました。出した情報が、これからの課題解決に活かされますね。

「支え合いマップづくり」を どのように活かすのか？

このマップを作成してみても、地域の課題がわかりました。課題を解決するには、時間がかかると思います。しかし、私は町会長の任期が終わってから、この課題解決に携わっていきたいと思っています。高齢者の人には、能登島閨町にいれば大丈夫。強い絆がある安全安心なまちだからと思ってもらえる地域づくりをしたいと思っています。そういった目標を達成するため、このマップを活かしていきたいと思えます。

「くり」モデル地区1 能登島閨町

10年後、20年後は…

◆まとめ

「支え合いマップづくり」を通して、次の内容が見えてきた。

- ① 高齢者世帯が多いこと
- ② 見守り合い、支え合いの基礎ができていく
- ③ 近所付き合いができていく
- ④ 祭りの時期には、親戚や住民が集まる
- ⑤ 若い人が少なくなってきた
- ⑥ 10年後、20年後は大丈夫なのか



能登島閨町町会長

中村勝征さん

「支え合いマップづくり」を知っていましたか？

民生委員の会議で聞いたことがありましたが、マップづくりをしたのは初めてです。

はじめは、この「支え合いマップ」は、福祉マップ（要援護者を地図上に記したもの）のことだと思っていました。もう、福祉マップは作成されているのに、どうしてまた取り組むのだろうと思っていました。マップづくりをしてみると、福祉マップとはぜんぜん違いますね。

「支え合いマップづくり」で期待することは？

「支え合いマップづくり」の質問や指導で、能登島閨町のいろいろな情報が出てきましたよね。そんな情報の中で、知らないことがたくさんありました。そして、私たちが気づかなかった能登島閨町の課題など、今後の在り方などが見えてきました。そういった意味では、このマップづくりで終わりではなく、このマップを活かして、今後の能登島閨町のまちづくりに取り組まないとならぬでしょうね。

「支え合いマップづくり」を終えての感想は？

はじめはどうやって「支え合いマップ」が仕上がっていくのかな、難しい

んだろうなと思っていました。

作成に取り組むと、出された情報がマップに記載されて、スムーズにでき上がるんだと思いました。スムーズにできたのも、木原先生の進め方がよかったです。一番なんですけどね。感心することの連続でしたね。

「支え合いマップ」でわかったことは？

「支え合いマップ」を見てみると、この地域にいる一人暮らしの高齢者は、まだまだ元気で自立していますよね。見回りをしなければならぬようなこともなく、また、地域の中で、皆さんがつながっていますよね。孤立した人はいないと思っていました。このマップで、確認ができて本当に安心しました。

これからの地域は、どんなまちが理想なのか？

能登島閨町は、お向かいさんや隣近所つながりがありますので、こんな関係が続けばいいのではないのでしょうか。ただ、10年後、20年後はどうなのかです。これから、「支え合いマップ」を活かしながら考えていかなければなりませんね。これから困るのは、私たちや若い世代ですからね。

「支え合いマップづくり

今は大丈夫！しかし、

◆課題が見つかり、行動へ：
今は比較的若い地域なので、将来を見据えた体制づくりをする。住民の中で、介護経験者や介護福祉士、ケアマネージャーや看護師などの資格を持つ人が多いことがわかったので、地域で介護を支援する体制づくりを進めていく。



能登島閨町 民生委員
森下美知代さん